

北九州産業学術推進機構 地域DX共創事業 「HAGUKUMIーともに進める地域DXプログラムー」 令和8年度 募集要項

1 趣旨・目的

地域企業のデジタル化・DXを進めるうえでは、個社単独での取組に加え、同業種・異業種の他事業者との間で、非競争領域におけるノウハウ共有、共通課題の整理、実践事例の横展開を進めることが重要です。

本プログラムは、北九州地域においてデジタル技術を活用した地域企業等の変革を促進するため、複数の企業・団体等が連携して取り組む共創活動、またはその形成につながる企画の推進を、公益財団法人北九州産業学術推進機構(以下、「FAIS」という。)が支援するものです。

応募受付期間: 令和8年6月24日(水)～令和8年7月31日(金) 17:00<必着>

対象活動期間: 採択決定日～令和9年3月31日(水)

※ 活動内容に応じて、期間内で活動終了日を設定することができます。

※ 応募に際して不明な点がある場合は、必ず事前に事務局へお問い合わせください。

2 募集類型・対象活動

本プログラムでは、地域企業等による共創活動の状況や段階に応じて、以下の2類型を設けます。

2-1 募集類型

(1) 団体募集型

既に共創活動に取り組んでいる、または取り組む意思のある団体・研究会・コンソーシアム等を対象に、活動の継続、深化、横展開を支援する類型です。

団体募集型では、原則として3者以上で構成される団体・研究会・コンソーシアム等を対象とします。

(2) 企画提案型

地域や業界の共通課題、非競争領域における課題解決、新たな共創の可能性に関する企画提案を募集し、採択後にFAISが関係者接続、ワーキンググループ設計、論点整理等を支援しながら、具体的な共創活動へ育てていく類型です。

企画提案型は、応募時点で団体・研究会等が形成されていない場合でも、地域や業界の共通課題に関する企画提案を対象とするものです。選定にあたっては、応募時点での構成員数よりも、提案テーマの意義、地域や業界の共通課題との関係性、共創活動としての発展可能性、地域DXへの波及可能性等を重視します。

採択後は、FAISと協議のうえ、必要に応じて関係者の参加促進や共創体制の形成を進めるものとします。

2-2 対象となる活動

本プログラムの対象となる活動は、北九州地域を主な対象とし、デジタル化・DXに向けて他者との連携により共創を進める活動です。

共通して対象となる活動例は以下のとおりです。

- ・ 地域・業界の共通課題に関する勉強会、研究会、ワーキンググループ
- ・ 非競争領域におけるノウハウ共有、業務改善、共通課題解決
- ・ 同業種・異業種によるDX実践事例の共有
- ・ サービス業、卸小売業等における業務改善、人手不足対応、顧客接点改善に関する勉強会
- ・ 構成員拡大や地域企業への横展開に向けた公開イベント
- ・ 成果共有、事例発信、他団体への横展開を目的としたセミナー
- ・ その他、FAISが本プログラムの趣旨に合致すると認める活動

共通で挙げた活動に加え、団体募集型で想定する活動例は以下のとおりです。

- ・ 既存団体・研究会による勉強会、ワークショップ、公開イベント
- ・ 団体構成員の拡大に向けた取組
- ・ 団体活動の成果共有・事例化

共通で挙げた活動に加え、企画提案型で想定する活動例は以下のとおりです。

- ・ 地域や業界の共通課題をテーマとした企画提案
- ・ 特定業界の非競争領域において複数企業で共有可能なデジタル活用テーマの検討やソリューションの開発推進
- ・ 特定業種とIT企業による課題共有・分析のための取組など
- ・ 将来的な実証、団体化、研究会化につながる企画

なお、これらは例示であり、応募者からの独自の取組や提案を妨げるものではありません。実施しようとしている取り組みが本プログラムの対象になるかは事前相談でも確認可能です。

2-3 対象外となる活動

以下のような活動は対象外とします。

- ・ 団体構成員内外の親睦や交流のみを目的とした活動
- ・ 特定企業の商品・サービスの販売促進や営業活動を主目的とする活動
- ・ 個社のシステム導入費用の肩代わりを目的とする活動
- ・ 飲食、懇親会、福利厚生等を主目的とする活動
- ・ 宗教活動、政治活動を目的とする活動
- ・ その他、本プログラムの目的・趣旨から適切ではないとFAISが判断する活動

3 応募要件

本プログラムに応募できる者は、以下の共通要件および応募類型ごとの要件を満たす者となります。

3-1 共通要件

1. 代表構成員は、北九州市内に事務所または事業所を有する法人であること。
2. 代表構成員は、採択決定までに北九州市DX推進プラットフォームに登録すること。
3. 本プログラムの趣旨を理解し、地域企業等のデジタル化・DX推進、共通課題解決、横展開に向けて主体的に取り組む意思があること。
4. FAISが行う伴走支援、関係者接続、進捗確認、成果発信等に協力できること。
5. 活動記録、成果報告、取材、事例化、成果共有会等に協力できること。
6. 宗教活動または政治活動を目的とした活動でないこと。
7. 暴力団、暴力団員および暴力団密接関係者のいずれにも該当しないこと。
8. 同一活動について他制度から資金交付、補助、委託等を受けている場合、または受ける予定

がある場合は、応募時に申告できること。

3-2 団体募集型の要件

1. 原則として、3者以上で構成される団体・研究会・コンソーシアム等であること。
2. 団体の目的、構成員、代表者、意思決定方法等が確認できる体制を有すること。
3. 今年度中に具体的な共創活動、公開イベント、勉強会、ワークショップ、実証・デモ等を実施する見込みがあること。
4. プログラム終了後も、継続的に活動を行う意思があること。

3-3 企画提案型の要件

1. 企画提案型においては、応募時点で複数者による団体・研究会等が形成されていることを必須とはしません。1者による応募も可能です。
2. 地域や業界の共通課題、非競争領域における課題解決、新たな共創の可能性に関する企画提案であること。
3. 採択後、FAISと協議のうえ、必要に応じて関係者の参加促進、ワーキンググループ形成、共創体制の構築等に取り組む意思があること。
4. 企画内容の具体化に向けたヒアリング、打合せ、ワーキンググループ、成果共有等に協力できること。

4 支援内容

本プログラムに採択された団体等に対し、FAISは以下の支援を行います。

支援内容は、採択団体等とFAISが協議のうえ決定します。すべての支援を一律に提供するものではなく、活動内容、必要性、予算、支出可否等を踏まえて調整します。

4-1 伴走・コーディネート支援

- ・ 活動テーマや課題の整理
- ・ 活動計画の整理
- ・ FAISが保有する関係者(専門家、支援機関等)の紹介
- ・ 団体間・テーマ間の連携調整
- ・ ワーキンググループや打合せの進行支援
- ・ 活動の進捗確認、論点整理

※ 団体の事務局をFAISが担うものではありません

4-2 共創実践支援

FAISが本プログラムの趣旨に照らして必要と認め、かつ予算および支出可否の範囲内で、共創活動の実践に必要な支援を行います。

- ・ 勉強会、ワークショップ、公開セミナー等の開催支援
- ・ 共催イベント、成果共有会等の開催支援
- ・ ワーキンググループや意見交換会の設計・運営支援
- ・ 講師、有識者、専門家等への謝金
- ・ 会場費等のFAISによる直接負担
- ・ その他、FAISが本プログラムの目的に資すると認め、かつ予算および支出可否の範囲内で直接負担する経費

なお、費用をFAISが直接負担する場合の詳細な条件は「8 留意事項」に定めます。

4-3 広報・事例化支援

- ・ FAISホームページ等での活動紹介
- ・ インタビュー記事作成
- ・ 成果共有会等での発表機会の提供
- ・ 地域内企業や支援機関への情報発信
- ・ 事例化、横展開に向けた整理支援

5 応募から採択後の流れ

応募から採択後の活動までの流れは、概ね以下のとおりです。

項目	時期
募集開始	6月24日
事前相談	応募期間内随時受付
応募書類提出	7月31日17:00(厳守)
書類確認・ヒアリング(必要に応じて)	8月上旬
活動計画の調整・採択決定	8月中旬
キックオフイベント	9月上旬頃
活動実施・FAISとの協議	対象活動期間中
中間発表イベント	11月中旬頃(日程は採択者と調整)
最終発表イベント	1月中旬頃(日程は採択者と調整)
活動報告書の提出	3月末もしくは活動終了時の早い方

応募書類に不備がある場合は、受付できないことがあります。

活動内容や応募類型について不明な点がある場合は、事前に事務局へご相談ください。

6 支援対象の選定

応募内容について、提出書類および必要に応じたヒアリングにより、FAISにおいて支援対象を選定します。

選定にあたっては、以下の観点を踏まえて総合的に判断します。また、応募状況や予算、支出可否等により、支援内容を調整する場合があります。

6-1 共通の選定観点

観点	内容
有意性	地域企業等のデジタル化・DX推進、業種・規模別モデル事例の創出、地域内への横展開に資するか
共創性	複数主体の連携、相互学習、ノウハウ共有、非競争領域における課題解決につながるか
主体性・自走性	応募者自身が主体的に活動へ取り組む意思・体制を有し、プログラム終了後も継続的な活動や発展が見込まれるか
波及性	他企業、他団体、他業種への展開可能性があるか
実行可能性	年度内に具体的な活動を実施できる見込みがあるか
FAIS支援との適合性	FAISによる伴走、関係者接続、会場費・講師謝金等の直接負担により支援可能な内容か

6-2 団体募集型で特に重視する観点

- ・ 団体としての活動実績または実施体制
- ・ 構成員間の役割分担
- ・ 今年度実施予定の活動の具体性
- ・ 公開イベント、成果共有、横展開の可能性
- ・ 団体としての継続性

6-3 企画提案型で特に重視する観点

- ・ 提案テーマの意義
- ・ 地域や業界の共通課題との関係性
- ・ 共創活動としての発展可能性
- ・ 参加者拡張や関係者巻き込みの可能性
- ・ FAISが支援することで具体化が期待できるか

7 採択後の協力事項

採択団体等には、以下の事項への協力を求めます。

1. キックオフ、進捗確認、中間共有、成果共有等への参加
2. FAISとの定期的な打合せ、活動状況の共有
3. 活動記録、写真、成果資料等の提供
4. FAISが行う取材、記事化、広報発信への協力
5. 成果共有会等での発表
6. 地域内企業や他団体への横展開に資する範囲での情報公開
7. FAISが費用を直接負担する場合に必要な見積取得、仕様確認、日程調整、共催調整等への協力
8. その他、FAISが本プログラムの実施に必要と認める事項

8 留意事項

1. 本プログラムは、採択団体等に対して助成金を交付するものではありません。
2. 会場費、講師謝金等の経費については、FAISが必要と認め、かつ予算および支出可否の範囲内で、FAISが直接負担します。
3. 採択団体等がFAISとの事前協議なく独自に支出した経費について、FAISが後日補填するものではありません。
4. 同一活動について、国、地方公共団体、その他支援機関等から資金交付、補助、委託等を受けている場合、または受ける予定がある場合は、応募時にその内容を記載してください。
5. 他制度による支援と本プログラムによる支援内容が重複する場合は、支援対象外または支援内容を調整する場合があります。
6. 応募内容に虚偽があった場合、または本プログラムの趣旨に反する行為が確認された場合は、採択を取り消すことがあります。
7. 応募内容、活動内容、成果等については、FAISの広報媒体等で公表する場合があります。公表範囲については、必要に応じて採択団体等と協議します。
8. 本要項に定めのない事項については、FAISが本プログラムの趣旨に照らして判断します。

9 応募書類

応募にあたっては、以下の書類を提出してください。

1. エントリーシート／活動・企画概要書
2. 団体規約またはこれに準ずる資料(団体募集型は提出必須。企画提案型は応募時点では必須としません。ただし、採択後に複数主体による活動体制を形成し、FAISとの共催事業等として実施する場合には、必要に応じて提出を求めることがあります。)
3. その他、FAISが必要と認める資料

エントリーシートでは、以下のいずれかの応募類型を選択してください。

- ✓ 団体募集型
- ✓ 企画提案型

10 提出先・問合せ先

〒808-0138
北九州市若松区ひびきの北8-1
公益財団法人北九州産業学術推進機構
ロボット・DX推進センター DX推進部
地域DX共創事業(DX LAB KTQ)事務局

担当:世良、品川、糸川

E-Mail: dxlab-ktq@ksrp.or.jp

- ※ 応募資料の提出やお問い合わせは確認の都合上、原則としてメールでお願いいたします。内容を確認のうえ、担当者より順次回答いたします。
- ※ 応募内容や活動内容についての事前相談も受け付けます。

11 北九州市DX推進プラットフォームの登録について

代表構成員は、採択決定までに北九州市DX推進プラットフォームに会員登録してください。登録は無料です。

北九州市DX推進プラットフォームは、DXを推進したい北九州市内の企業と、DXの推進をサポートする企業をつなぐため、北九州市が創設したプラットフォームです。

既に登録済の場合は、エントリーシートに登録状況を記載してください。未登録の場合は、採択決定までに登録を行ってください。

<北九州市DX推進プラットフォームURL>

<https://www.ksrp.or.jp/robo-dx/business/dx/platform/>

参考別表1 募集類型の比較

項目	団体募集型	企画提案型
位置づけ	既存の共創主体・研究会等の継続・深化支援	新たな共創テーマ・課題意識の具体化支援
応募主体	代表構成員が北九州市内法人である団体・研究会・コンソーシアム等	北九州市内に事務所または事業所を有する法人
構成員数	原則3者以上	1者でも応募可能
団体規約	必須	応募時点では必須ではない
重視する点	実施体制、活動実績、継続性、横展開可能性	企画内容、課題設定、共創可能性、波及性
採択後の動き	団体活動の継続・深化・事例化	関係者接続、WG形成、企画具体化
FAISの支援	共催イベント、講師謝金、会場費、広報等	論点整理、関係者接続、WG運営支援、有識者招聘等

参考別表2 FAISが費用を直接負担する支援の例

支援内容	例
会場費	共催イベント、勉強会、ワークショップ、成果共有会等の会場
講師・有識者謝金	勉強会、WG、公開イベント等に登壇する外部講師・有識者
広報・発信	Web掲載、メール配信、チラシ配布、インタビュー記事製作等
その他	FAISが本事業の目的に資すると認めるもの

※ 上記は採択団体等に対して助成金として交付するものではありません。

※ FAISが必要と認め、かつ予算および支出可否の範囲内で、FAISが直接負担するものです。

※ 採択団体等がFAISとの事前協議なく独自に支出した経費について、FAISが後日補填するものではありません。